

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース											
音楽基礎B 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	選択	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	田中 綾美			実務経験	有	職種	キーボーディスト				
担当教員紹介											
田中綾美 / ピアニスト、キーボーディスト、ピアノ講師、作編曲家。高校からオリジナル曲で弾き語りをするようになり、 高校生バンド大会VHMFの全国決勝大会に二度出場、横浜アリーナにて演奏する。その後、ヤマハ音楽院に進学し、クラシック、ジャズ、作曲、アンサンブルなどを勉強、Carnavacationとして2017年にキングレコードよりラグビートップリーグのエンディングテーマ 曲をリリース。BS朝日ラグビーウィークリーのエンディングテーマを担当。共演アーティスト(クリスタルキング、杏子、エンリケ、花*花、なかの綾、ワタナベシュウヘイ、Play.Goose、Deni Hines、GAKU-MC、大黒摩季、田島貴男、スチャダラパー、ビッケブランカ...etc.順不同)											
授業概要											
1960年以降の近代ポップスの歴史から紐解き現在までの音楽事情を業界の流れに沿って学び、 I Tの時代に新しい音楽（ハード・ソフト）でいかに人を魅了できるか課題解決学習を中心にチームで検討していく。CDリリースとライブの関係性が崩れアーティストを売り出すテクニックはどのように変化していったのか？テレビが中心であった時代からネット全盛期の今日におけるプロモーションやデビューの方法の移り変わりなどを知り全学生がマネージャーになってみたらの視点で考えてみる。											
到達目標											
音楽史を学ぶと同時に社会背景を学び高度経済成長期からバブル時代、90年代バブル崩壊後は新たな手法の音楽メディアの登場と海外に後れを取る日本の音楽事情。更には I T分野との音楽の関連性と未来に向けての取組を個々の学生が明確な課題を持って取り組む事が出来る。											
授業方法											
■授業では、音楽史を中心に世界の歴史を学ぶ。（一般教養的な授業） ■ヒット曲の背景にはどんな経済の動きがあったか？新しいメディアの登場によりマネジメントの手法はどう変わり、今後はどう進化してくのかチームごとで検討して行く。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
この授業では音楽の歴史を探りながら社会との関連性を学び音楽ビジネスがどう移り変わって来たのかを知る。そのため単に音楽史を学ぶのではなく日本さらには世界の現代史を深く学ぶことが焦点である。社会に出るうえで必要な一般教養知識を学ぶための授業である。現在の音楽業界事情から、アーティストと音楽業界スタッフのあらゆる面での関わり方など、アーティスト周りの人間関係も意識できる授業になる。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス：（学ぶポイント）										
第2回	学生たちの趣味趣向と一般的な音楽事情										
第3回	日本と海外の音楽業界全体像										
第4回	ライブビジネスとレコードメーカーの関連性										
第5回	なぜCDは売れなくなったのか？社会背景からの視点										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／ヴォーカリストコース	
音楽基礎B 2	
第6回	レコード店は本当に要らないのか？Youtubeから見る企業戦略
第7回	マネージメントの仕事（売りだし方の変化）
第8回	新しい音楽メディアの登場
第9回	音楽とICTとの関連性と今後に期待できる事
第10回	アーティストを「有名にする」ための会議
第11回	アーティストを「有名にする」ための会議（発表）
第12回	音楽出版社と著作権
第13回	ライブ・エンターテイメント論（1）
第14回	ライブ・エンターテイメント論（2）
第15回	まとめ 及び 前期試験対策